



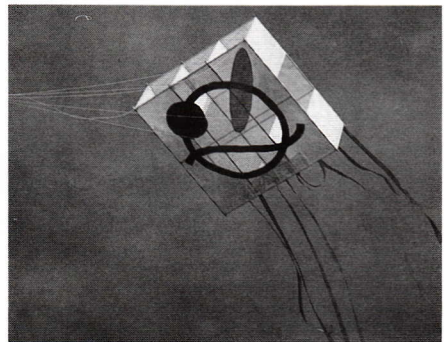
すたが

編集・発行／苅田町青少年育成町民会議総務部会
(☎434-1111 内線341)

No.13. 1994年(平成6年)3月25日



寒さに負けるな！
凧たこ揚がれ！



参加者の凧は手づくりが多く、中には畳十畳分の巨大凧も出現。冬將軍に負けじとこどもたちはほほを赤くしながら元気に走り回って凧を揚げていました。

また、今年も苅田町レクリエーション研究会のみなさんがボランティアでぜんざい五百食分を用意。参加者は冷えきった体をぜんざいで温めました。

※なお、凧揚げカーニバル入賞者は2ページに掲載しています。

一月二十三日、向山公園で第四回凧揚げカーニバルが行われ、親子連れなど百十八組約三百名が参加しました。

第4回
凧揚げ
カーニバル

「子と親の願うものは……」

第2回青少年育成町民会議 家庭部会シンポジウム



十二月二十七日、家庭部会では、北公民館で昨年に引き続きシンポジウムを開催しました。参加者は約二百五十名。メインテーマに「子と親の願うもの」、サブテーマに「いじめをなくすにはどうしたらよいか」と題して、熱気あふれる討議が行われました。

パネラーとして次の方々が参加しました。
(敬称略)

●コーディネーター

榎憲一郎(社会教育指導員)

●パネリスト

渡辺綾(荻田中三年)

釘宮成二(新津中三年)

丸山謙一(P.T.A)

秋吉陸夫(地域)

石辺節雄(地域)

斉藤正幸(学校)

荻田町より22名が入賞!

平成5年度県子連主催 健全育成ポスターコンクール



風揚げカーニバル 入賞者

事務局ではいろいろな賞を準備していましたが、強風のため競技が早く中止となり審査が十分にできませんでした。そのため、手づくりの風のできばえを審査し、入賞者を選びました。
(敬称略)

高野徳弘(富久町)、山下真由美(新津)、山下千秋(新津)、岸航太(松原)、岸本康平(若久)、豊福真司(新津)、良川貴志(若久)、宇都宮良介(雨窪)、平山直樹(雨窪)、国田芳徳(松原)、古賀幸(京町)、末倉幸奈(若久)、若い風の会(若久)、沖永徳浩(与原)、尾田弘子(若久)、倉岡暁和(集)

福岡県子ども会連合会主催による健全育成ポスターコンクールに町内の各小中学校を通じて募集したところ、多数の応募がありました。

県の選考の結果、入賞者三十名が発表され、このうち荻田町の入選者は昨年の十九名を上回る二十二名でした。(敬称略)

▼福岡県知事賞

小笠原舞(与原小一年)

▼金賞

潮田恭平(与原小六年)

▼銀賞

羽広純子(与原小四年)

中村絵美(荻田中二年)

▼銅賞

小野智美(南原小一年)

城智則(荻田中一年)

司城裕美(与原小五年)

▼佳作

中園綾(片島小三年)

吉田英之(馬場小三年)

松下智子(荻田中二年)

井上真依(与原小二年)

森下奈津江(片島小四年)

多田有紀(南原小四年)

柿本直哉(与原小五年)

常広真由(与原小六年)

中村真紀(荻田中一年)

井上梨沙(馬場小六年)

原奈緒(与原小五年)

竹村みゆき(荻田中一年)

森川裕子(与原小六年)

増田清香(荻田中二年)

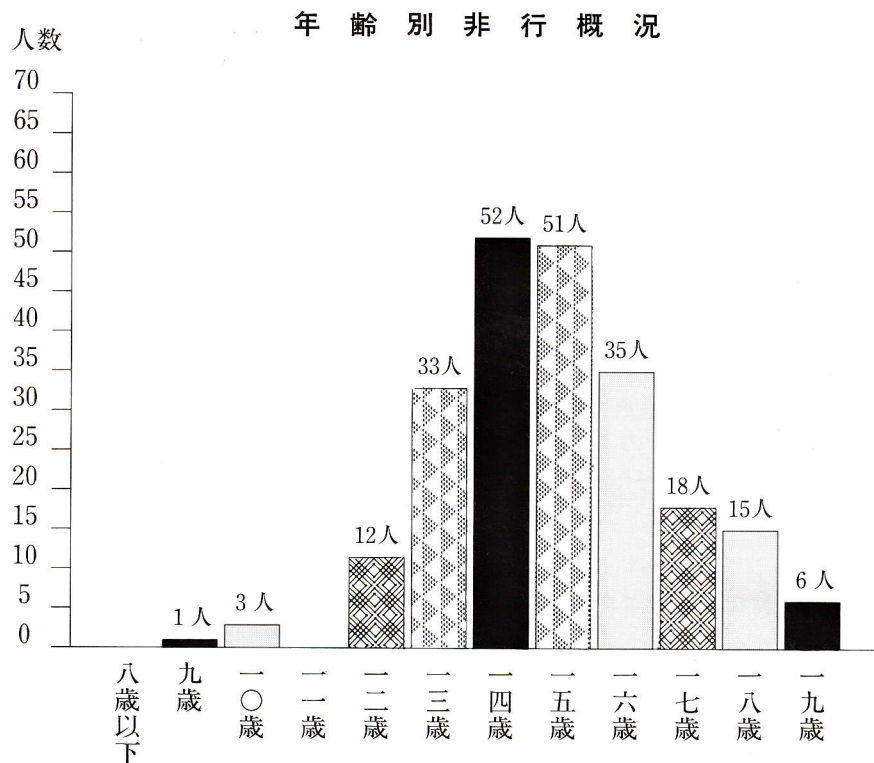
沖永智之(与原小四年)

※以上の方は、三月三十一日に県立社会教育センターで表彰されます。

非行のピークは14歳

京都・行橋地区の青少年非行概況

このほど行橋警察署より平成五年の青少年の非行に関する概況が発表されました。
 少年非行は前年に比べて微増しており、特に万引きが増加しています。また、中学生の非行が全体の過半数を占め、年齢では十四歳がピークとなっています。



初発型非行

年 度	万引き	自 転 車 盗	オート バイ盗	占 有 離脱物 横 領	合 計
平 6 年	36	20	89	11	164
平 4 年	24	30	96	9	159
平 5 年	52	17	94	5	168



※初発型非行

動機が単純で、非行の手段も比較的容易な万引きや自転車・オートバイ盗および占有難脱物横領を総称した非行をいいます。そのまま放置すると、常習化・集団化しやすく、粗暴犯や薬物乱用などの非行への入口にもなります。

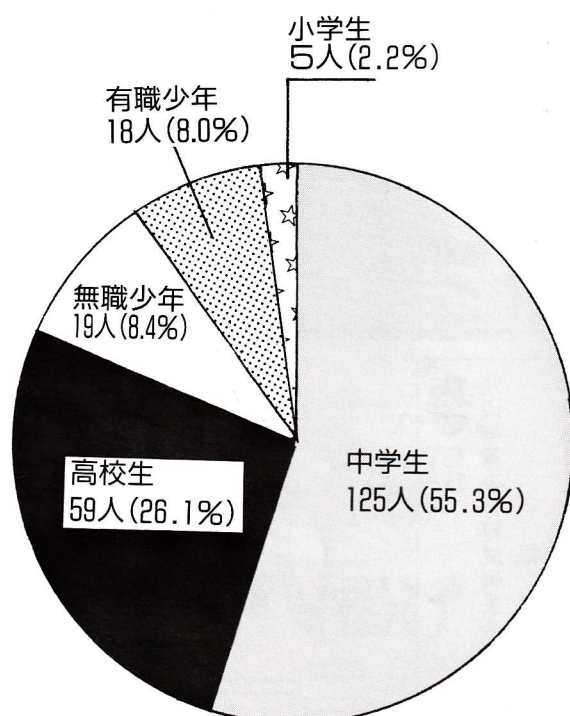
※不良行為少年

犯罪少年、触法少年、ぐ犯少年に該当しないが、飲酒、喫煙、家出、その他自らまたは他人を害する行為をしている少年をいいます。

不良行為少年補導状況

行 為 年 度	喫 煙	飲 酒	薬 物 乱 用	暴 走 行 為	家 出	深 夜 徘徊	怠 学	不 健 全 性	そ の 他	合 計
平 3	622	28	185	45	2	325	53	0	63	1323
平 4	430	15	73	29	1	295	30	0	29	902
平 5	356	9	41	16	1	246	47	0	42	758

学識別非行概況(合計226人 100%)



青少年相談Q & A

Q

最近は子どもの間に万引きが一般化しているといわれていますが、その原因は何なのか、また、万引きに関して家庭ではどうすればよいのでしょうか。

A

万引きが一種の流行のようになっていますが、文部省発行の家庭教育資料を参考に、小学生の場合についてお答えします。

○原因は次のようなことが考えられます。

①善悪の判断や規範意識の弱さ

万引きした子どもがなぜそれが悪いのかよく分からないとか、罪の意識が驚くほどないと指摘されています。

②忍耐力の不足と自己制御力の弱さ

目の前にあるものが欲しいとなると、どうにも我慢ができず、つい手を出してしまうという例です。

③ストレスの欲求不満

「おもしろいからやった」とか、「スカッとした」などとよい言います。

④健全な遊びの不足

○では万引に関して家庭ではどうすればいいのでしょうか。主な点を三つ上げてみました。

①物事の善悪の規範意識をきちんと子どもに与えること。

日常の身近なことから、折に触れて親や大人が教え、働きかけることによって達成できます。

②健全な遊びやスポーツの機会を十分与えること。

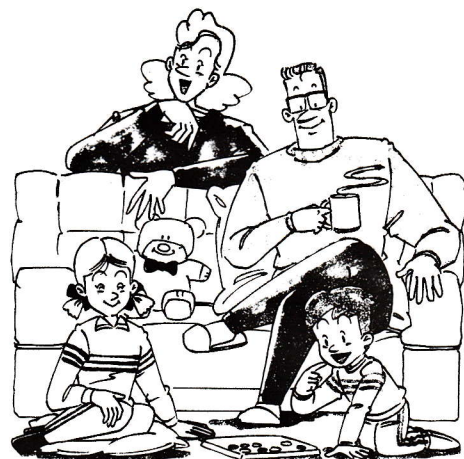
さまざまな機会をつくって、同年齢の子どものみならず、異年齢の子どもたちと汗まみれ泥まみれになって、くたくたになるまで、遊びなどに熱中させることが必要と言えます。

③お金の持ち出しや万引きを見つけたら、きちんと叱り、よく反省させること。

特に、小学生の段階では厳しいくらいに対応しておくことが大切です。かわいそうとか、言わなくてもわかるだろうなどと考えて、うやむやにしてしまうと、しばしば取り返しのつかないことになります。

築いていますか
暖かな家庭

第 3 日曜日は
家庭の日



1994年は、
国際家族年
International Year of the Family
です。

編集・発行
荻田町青少年育成市民会議
総務部 会
☎ 434-1111 内線 341

教育委員会では、青少年の健全な育成をと「青少年教育相談室」を開設しています。ご利用ください。
勉強や進路、友達、家庭や親子関係、子どもの変化、しつけなどの問題解決への手助けのために、まずは気軽にダイヤルしてください。秘密は固く守ります。
●相談日時 毎週月・水・木・金曜 午前9時～午後4時30分
※相談は電話相談、面接相談のどちらでも受け付けます。
※祝祭日は除きます。

悩んでいないで
気軽にダイヤル

☎ 436-1152

青少年教育相談室
(三原文化会館内)